

医療と福祉をキーワードに センサー応用機器を開発

開発型ベンチャーですから世の中にな
いものを作るのが基本。主に「医療」「福
祉」「介護」をキーワードに、医療福祉関
係に役立つセンサー応用機器などを開発
しています。

技術には自信がありますが、開発には
企画力も大切。こういうものが欲しい、
というニーズに応じて具現化するのが仕
事です。産学官連携で、大学などが必要
としているものに独自性やプラスαを加
えて形にしていますが、いつも「こんな
物もできた！」と技術で人を感動させて
いきたいですね。

開発の一例をあげると、口腔障害関連
の機器をという求めに応じて開発したの
が、口腔内の診断、リハビリが可能なの
圧測定表示装置です。

また、重度障害者用電動車イスは単な
る移動手段ではありません。データを受

(有)アルニク

代表取締役

松浦辰彦氏

Tatsuhiko Matsuura

広島県東広島市出身。島根大学理学部物理学
科卒。(株)キーエンスなどで技術開発に携わる。
その自動化、省力化の技術を生かして医療福祉分
野に貢献したいと2001年起業。

Company Data

広島県東広島市西条西本町28-6
サンスクエア東広島3階A室
TEL 082-431-4872
<http://www4.ocn.ne.jp/~hiacc/>

- 設 立 2001年9月
- 資 本 金 300万円
- 従 業 員 2名
- 事 業 内 容 医療福祉機器、医療補助機器、
センサー応用機器の設計開発、
販売

一生モノの言葉

「ローマは一日にしてならず」

信で可動方向をスキャン表示できますし、
センサースイッチで家電やパソコンなど
様々な制御が可能です。可動のシミュレ
ーションができるのも画期的です。
起業したのは、十年以上開発に携わっ
てきた自動化などの技術力を、医療福祉
分野に生かしたいということがきっかけ
でした。
最初は、徘徊を知らせるセンサーなど
を開発しましたが資金面では苦労しまし
たよ。何しろ開発できなければお金が入
らない世界ですから。
それでもここまで続けてこられたのは
技術には絶対的な自信を持っていたから
こそ。起業を考える人は、自分に「何か
これ」という自信を持つことが最低条件
でしょうね。
今後は、広島県でセンサーといえば「ア
ルニク」といわれることが目標。その
ために今は、センサーというカテゴリ
で、コアになるソフトウェアなどを蓄積
している段階です。

ニーズに応じた商品を具現化して

「技術で人を感動させたい」

Selection

25

